

JILPT 資料シリーズ

No.209 2019年3月

労働力需給の推計

—労働力需給モデル(2018年度版)による将来推計—



資料シリーズ No. 209

2019年3月

労働力需給の推計

—労働力需給モデル（2018年度版）による将来推計—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

本資料シリーズは、労働政策研究・研修機構が今後の雇用政策の企画・立案に資することを目的に行った労働力人口と就業者数のシミュレーションについて、その方法と結果をまとめたものである。シミュレーションは、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、2017年出生・死亡中位推計）を前提に、「未来投資戦略 2018」（2018年6月15日閣議決定）の成果目標が達成される場合など複数のシナリオで、性・年齢階級別に、また、就業者数については産業別に、2040年まで行ったものである。

当機構では過去数次にわたり、「労働力需給の推計」として、労働力人口と就業者数のシミュレーションを行ってきた。結果は、厚生労働省の雇用政策研究会の議論に、あるいは公的年金の財政検証等に役立てられてきた。本資料シリーズでまとめたシミュレーションの結果も、2018年4月から開催された厚生労働省の雇用政策研究会に使用されたものである。

この推計を円滑に実施するために当機構内に「労働力需給推計に関する研究会」を設置したが、同研究会に参集し、甚大なご協力をいただいた外部の研究者のみなさまには、改めて感謝申し上げる。

雇用政策の企画・立案に、また、労働力供給、需要構造の変化に関する分析の基礎資料として、本資料を広く活用していただければ幸いである。

2019年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

労働力需給推計に関する研究会 名簿 (2018年10月31日現在)

(委員) 五十音順、敬称略 (○は座長)

浅尾 裕 労働政策研究・研修機構 特任研究員
阿部 正浩 中央大学経済学部 教授
井嶋 俊幸 労働政策研究・研修機構 統括研究員
大石 亜希子 千葉大学大学院社会科学研究院 教授
加藤 久和 明治大学政治経済学部 教授
川上 淳之 東洋大学経済学部 准教授
○早見 均 慶應義塾大学商学部 教授

(研究協力者)

木村 文勝 三菱総合研究所 嘱託研究員

(オブザーバー)

弓 信幸 厚生労働省職業安定局雇用政策課長
大野 希望 厚生労働省職業安定局雇用政策課長補佐
久保 龍太郎 厚生労働省職業安定局雇用政策課雇用政策係長

目 次

第 1 章 はじめに	1
第 1 節 作業概要.....	1
第 2 節 本稿の構成.....	1
第 2 章 労働力需給推計(2018 年度版)の概要	4
第 1 節 推計方法の概要.....	4
1. 推計モデルの概要	4
2. 推計シナリオの概要	5
第 2 節 推計結果の概要.....	7
第 3 章 労働力需給モデル	18
第 1 節 労働力需給モデルの構造.....	18
第 2 節 方程式体系.....	21
1. 労働力需要ブロック	21
2. 労働力供給ブロック	22
3. 労働力需給調整ブロック	23
第 3 節 データ.....	26
1. データ一覧	26
2. データ加工における補足	30
第 4 節 パラメータ推定結果.....	38
第 4 章 将来推計	48
第 1 節 将来シナリオと外生変数の検討	48
1. シミュレーションシナリオの設定	48
2. 労働力需要	56
3. 労働力供給	91
第 2 節 推計結果.....	92
第 3 節 AI 等新たな技術の進展による労働生産性への影響の試算.....	105

第 5 章 2015 年推計との主な相違点	123
第 6 章 おわりに	127
参考文献	128
付属資料	129